代表プロフィール 2023 版

新谷　まさこ（しんたに まさこ）

子育てと仕事.com 代表

看護師/保育士

保育-福祉第三者評価調査員/夜間小児救急電話相談員（#8000）

■　経歴

経験や知識を、人の役に立つカタチにして届ける。

1979 年石川県生まれ。看護師/保育士として、子育てと仕事における「健康」をテーマに、講師や執筆活動を行う。

総合病院、大阪市保健福祉センター、保育所、小児救急相談員（＃8000）などの現場経験に加え、㈳法人日本フリーランスウーマン協会代表や、保育・福祉施設第三者評価調査員の経験に基づく経営視点、そして高校生男子２人の母親としての家庭人の視点から、主催者と同じ立場に立って受講者の悩みを解決するセミナーを得意とする。大学や企業、公共施設にて、「絶対受けた方がいい！と、後輩に紹介したくなる」と定評がある。

「３つの視点」

小児救急電話相談（＃8000）の相談で 6000 人以上から相談を受ける中、慌てて動揺したり、行き詰ってしまう場合でも、どう考え何をすればいいのかが腑に落ちると、自信や経験がない人でも対応する力がうまれることを実感。

子育てや仕事を通して自信が持て、幸せな気持ちになれる人をふやすために、自身の体験と知識を講座のカタチにして伝えるための講座づくりを開催し、活動の幅を広げている。
高校生男子２人の母。

■　著書

『(改訂版）よくある子どもの病気・ケガまずの対応マニュアル ～よくある症状への具体的な寄り添い方から保護者への対応まで～』
（出版社：ひかりのくに株式会社：総８刷、2018 年改訂版出版）

■　講師実績・メディア実績・執筆実績その他

〈講師実績〉国立大学法人奈良女子大学、大阪教育大学、京都光華女子大学、佐賀県保育士会、石川県社会福祉協議会、河内長野市幼稚園ＰＴＡ連合会、東京都江戸川区園長会、京都市保育課、ＮＴＴ労働組合西日本本社総支、ひかりのくに株式会社、日本コープ共済生活協同組合連合会、大阪ガス労働組合、他多数

〈出　　演〉平成 24 年大阪府児童虐待防止活動オレンジキャンペーンパネリスト出演、関西テレビ「ゆうがた LIVE ワンダー」出演

〈執筆／掲載〉「ぜんほきょう」(全国保育協議会)連載（H28 年度)、「保育とカリキュラム」((株)ひかりのくに）連載（令和元年～現在)、読売新聞社、他
〈そ の 他〉大阪府保育人材育成支援事業、京都府交響プロジェクト受託

■ **連絡先**
(Mail)info@kotoshi-1.com　(HP)http://www.kotoshi-1.com/
(事務所)京都府木津川市

事業概要

【専門分野】
保育保健、家庭看護、ワークライフバランス、健康等

講師

園でよくある子どものケガや病気の事例からの事故防止や職員のスキルアップ研修、女性のメンタルヘルス、ワークライフバランスなどを、なじみのあるわかりやすい表現で伝えています。

保育研修　**保護者対応**　**ワークライフバランス**　**保育／看護現場理解**

今はお母さんにもアドバイスができる保育士が求められるようにもなっています。**子どもの気になる症状や病気について、経験からではなく、自信と理由をもって保護者の方にお伝えできるようになりました。**

（保育士　日野みえこさま）

保育園に通わせていると、病院へ薬へと頼ってしまい、少し悪いという気持ちもありました。でも、**親の向き合い方1つで、親・子どもの気持ちが安心することがわかりました。**薬が悪いわけではなく、分かることが大切ですね

（山口さま
34 歳ママ　お子さん：6 歳、3 歳、2 か月）

執筆

子どもへの応急処置や看病、よくある病気などを中心に執筆をおこなっています。保育者や保護者から直接悩み相談をうける機会が多いため現場向けの内容が好評です。
著書：『よくある子どもの病気・ケガまずの対応マニュアル』
ひかりのくに株式会社、4 版／改訂版 2018
執筆：全国保育協議会「ぜんほきょう」連載（H28.4～29.3）
「保育とカリキュラム」株式会社ひかりのくに連載
「ひろば」株式会社メイト　連載　等多数

「経験と知識を役に立つカタチにする」講座づくりの開催

これまでの経験や知識を体系的に整えた講座のカタチにする実践的な講座を開催しています。面談等の１対１から、集団で伝えるための教材づくり、場のつくり方などを学びます。講座が作れると仕事の幅が広がります。
6 か月間の少人数制の連続講座です。

保育・福祉施設第三者評価調査

京都府の登録調査員として出務しています。
京都府社会福祉協議会が主体のため個人依頼はできません。

研究事業

保育・子育て支援の現場に関する研究を行っています。
主なテーマ：家庭看護、育児不安、父親支援、授業デザイン等